地域密着型インターンシップ研修最終報告書

「インターンシップに参加して」

第 4 期　みさこんぶ

1. 研修場所

福島県会津地域

2. 参加目的

これから地域が元気になるためには、大きな工場を誘致することよりも、その地域に根ざした産業が必要であると考える。その地域に根ざした産業のひとつが農業である。また、農業は人が生活している限り、絶対必要となる産業であるにもかかわらず、現状として後継者不足や耕作放棄地の増加などの問題が山積しており、うまく機能していないのではないかと考えていた。そこで、実際に現場で共に作業をし、農業に関っている人の話を聞くことで、農業の可能性を確かめたいと思い参加した。また、現場での実体験を今後の仕事に広い視野で取り組むために活かしたいと考えた。

3. 課題

- 自ら体験するからこそ得ることのできる知識をたくさんためこむ
- 農業の現状を一端でもいいので自らの目で確かめる
- 「自分の立ち位置」を考え、目的を明確にした上で行動する
- たくさんの方との出会いを無駄にしない

4. 作業内容

＜前半戦＞　平成 22 年 11 月 8 日（月）～11 月 21 日（日）

- 農家さんでの作業
  - ✓ 渡部柿園さん…柿の選別、箱詰め作業
  - ✓ 簗田さん……大根の収穫・出荷準備、サトイモの収穫、ねぎの泥落しと袋詰め
- 素材広場での作業
  - ✓ 地鶏生ハム試食会の準備…アンケート作成、会場設営、受付
  - ✓ 名刺整理

＜後半戦＞　平成 23 年 1 月 6 日（木）～1 月 19 日（水）

- ✓ 会津暦復活プロジェクトへの参加
- ✓ いわき市中央卸売市場見学
- ✓ インターンシップ研修生募集チラシ設置のお願い（電話）と発送
- ✓ 地鶏生ハムアンケートの集計
- ✓ ふくしま 8 字プロジェクト全体会議へ議事録係として参加

5. 考えたこと、得たこと

＜農家さんでの作業＞

<u>農家さんの苦労</u>：農家さんの作業は本当に大変だ。天候に左右されやすいし、そのため収入も

安定しない。ただ、作物と１対１で向き合って、自分のペースと自分の判断で作業を進めていくことに農家さんはやりがいを感じているのではないかと思った。
商品の陰で：いま小売店で私達が購入できる農産物のかげには、「商品として出せないもの」がたくさんあることを知ることができた。想像はしていたが、実際に見るとインパクトが違った。
農業の今後：簗田さんが「今のままの農業を子ども達に受け渡すことはできない。」とおっしゃっていたのが印象的だった。これまで様々な工夫を凝らし試行錯誤してきた簗田さんでさえ、今のままでは農業は稼業として成立しないと考えている。どうすれば、農業は“魅力ある”産業となりえるのか。農業を魅力ある産業としたいという思いが、インターン参加前よりも強くなった。

＜素材広場＞
「仕事」とは：どんな仕事にも共通する、仕事をする上で重要なことを学んだ。段取りの重要性、自分の目的・立ち位置・立場をきちんと把握しておくこと、協力者を集める力など。まだ身についてはいないけれども、今後もここで学んだことを忘れずに、活かしていきたい。
熱い思い：ひとつの宿だけでは体験できなかった、会議への参加や様々なお宿さんの福島にかける熱い思いを知ることができ、本当に勉強になった。
あきらめない：無理だとあきらめず、創意工夫で楽しく乗り切る。自分に限界を作らない。あきらめたら、そこで試合終了です。

6. 今後、どう活かすか？
ここで学んだこととがすぐに何かの形になって出てくるわけではないと思う。すぐに結果は出ないけれども、インターンでの経験は私の考え方や価値観を変化させたことは確かである。自分で動くことで風が生まれ、風が吹くことで流れが変わり、その流れに乗って様々な出会いやつながりができることを実感できたことは、なにものにもかえられない貴重な経験だった。自分が動くことの重要性がわかったので、今後は自分で動く！を念頭にどんなことにも前向きに取り組んで行きたい。
そして、これから就く仕事がどうなるかはまだ分からないが、私は私のやり方で自分を磨き、福島を磨いていきたいと思う。

7. 最後に
実は、当初（説明会に来るまで）、素材広場での研修は全くといっていいほど考えていませんでした。いろどりにしか興味がなかったのです。しかし、実際 1 ヶ月の研修を終えてみると、上勝では感じることのできなかったワクワク感や緊張感を味わうことができて、とても充実した研修になりました。ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。
･･･おまけ･･･
✧ 会津暦の手ぬぐいを本気で希望。お祓い済みの手ぬぐいを「厄をぬぐう手ぬぐい」として。
✧ 今、私が気になっている商品「粉末醤油」。フライドポテトにかけて食べたい。
✧ 男子会むけ旅行プラン

ありがとうございました。